
疾走

音宮 音音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

疾走

【Nコード】

N7391C

【作者名】

音宮 音音

【あらすじ】

走りだす。今は何も考えずに。どこに向かうか分からないけど。

はしる はしる はしる はしる はしる

ペダル蹴って 風を切って 空に向かえ

まわる まわる まわる まわる まわる

焦げた草も 逃げた虫も 全部絡め 走りだすよ

「ハンドルきる必要はない」

ポケットのなかから

飛び出した思い出とか いろんなことを
そのまんまにして

僕の心をすべて

引っ張られていきそうだ なにもかもを
見ないよう目を閉じて たまに薄目開けてたけど

それでも 前に進めればそれでいい そう思ってた あの夏

壊れたブレーキをもぎ取って 空に投げた

はしる はしる はしる はしる はしる

時計はずし 両手投げだし バランスとって

まわる まわる まわる まわる まわる

水が弾け 跳んで消えた 虹を潜り スピード上げた

「サドルに座る余裕はない」

辿り着く先は

今は見えないけど いつかきつと

気付けるだろう 多分 僕が僕のままにいられたなら

今は ただ走っていけばいい そう思ってた あの夏

靴なんてもう意味がないから 脱いで棄てた

はしる はしる はしる はしる はしる

昨日に見た 何かが今 浮かんで消えた

まわる まわる まわる まわる まわる

今日を超えて 明日に向かう そのスピード 落とさずに

乾いた涙を乾いたままで 飛ばしておいた

とべる とべる とべる とべる とべる

ペダル蹴って 風を切って 空に向かって ただ走れ 走れ

（後書き）

もっとスピード感を出したかったのに無理でした…。

というか、書いたあと思ったのですが、この人色んなもの捨てすぎな気が…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7391c/>

疾走

2010年10月20日12時19分発行